

2024年1月17日

文京区長 成澤廣修 様

日本共産党文京区議会議員団
東京都議会議員 福手ゆう子

能登半島地震救援のための緊急申入れ

日頃から区政運営にご尽力されていることに、心から敬意を表します。

文京区として能登半島地震の被災地支援活動に元旦の発災直後から職員を先遣派遣し、東京都トラック協会文京支部と連携し支援物資を能登町に届けるとともに、募金を区有施設で実施するなど、各種の取り組みに感謝を申し上げます。

日本共産党文京区議団も3日に区内7カ所において能登半島地震救援募金を呼び掛け、寄せられた募金は全額を党本部を通じて被災地へお届けするとともに、被災地の日本共産党地方議員団、国会議員団とも連携し支援活動に取り組んできたところです。

被災自治体と相談・連携し、被災地・被災者の要望に迅速に応じて、区としての引き続き支援を要請します。

- ① 被災地からの広域避難者を受け入れるため、活用可能な区営住宅や公共施設、民間住居・宿泊施設（旅館・ホテルなど）を確保すること。旧区立根津住宅の売却手続きはいったん止め、これら広域避難者に提供すること。
- ② 食料や飲料水など求められている救援物資を被災者の手元に届けきる活動に取り組むこと。
- ③ 不足しているトイレ、テント、段ボールベッド、おむつ、衛生用品、生理用品などを被災自治体に届ける活動に取り組むこと。
- ④ 被災者の健康確保や避難所での感染症対策が重要な課題になっており、区として医療・介護スタッフなど専門家の派遣・支援や福祉避難所の拡充への支援に取り組むこと。
- ⑤ 文京区社会福祉協議会のボランティアセンターを核として今後、被災地支援ボランティアが被災地の現地で活動できるよう準備をすすめること。
- ⑥ 被災自治体での行政機能の維持や復旧・復興に関わる事務支援のために、職員派遣などを行うこと。

以上